

# 札幌

# 市民防災

第12号

平成27年3月31日

札幌市民防災団体連合会

発行責任者 田畠 隆二

## 平成26年度札幌市防災表彰式及び 札幌市自主防災セミナー2015

平成27年1月22日(木)午後2時から中央区の札幌すみれホテルにおいて、本年度の表彰が行われ上田市長から10団体の代表者にそれぞれ表彰状が授与されました。

上田市長から『この表彰制度は平成11年に設けられた制度で、現在までに163団体が受賞されておりますが、本日新たに10団体がこうして地域の防災を担って素晴らしい活動をされておられることに感謝と敬意を表させていただきます。

札幌は災害が比較的に少ない街と云われていますが、昨年9月11日の大雨の際には10区のうち6区に避難勧告を出し70万人が対象になる事態になりました。大きな被害もなく終わりましたが、これを学習の機会と捉え、このチャンスを逃がすと次の災害に備える事はできません。

私たちは、20年前の阪神・淡路大震災、4年前の東日本大震災においても「公助」には限界があり「共助」が安全なまちづくりに欠かせないことを学びました。市民一人ひとりがいざという時に何をすべきか、しっかりと意識した安全なまちづくり活動をご期待申し上げます』とご挨拶を戴きました。

### 平成26年度 札幌市防災表彰式



### 『日頃の防災活動の実践がなければ 「減災」はない』

札幌市民防災団体連合会 会長 田畠 隆二

本日受賞されました10団体の皆様、日頃の防災活動大変ご苦労さまです。その素晴らしい活動が認められ表彰されましたことに、あらためておめでとうございます。

先程、上田市長様からもお話をありました昨年9月の大雨で、私の家は白石なので、望月寒川が氾濫するのではと、町内の会館に避難する騒ぎになりました。あとで、災害を実践させて戴いたと思っています。

災害はいつ起きるか解りません。日頃から実践しておかなければ「減災」は望めません。

この後、引き続き当市民防災連と札幌市の共催による講演会を行います。今回は北海道総務部危機対策局防災教育担当課長 甲谷恵様により、演題は『今こそ、ご近所力! ~防災活動の実践例と工夫~』と題してご講演を戴きます。皆様には今後の活動の一助にして頂きたいと存じます。

研修会終了後には参加者による懇親会が盛大に行われました。

家登副会長の挨拶と受賞されました方々のご紹介があり、この後各テーブルにおいて情報交換が行われました。冬期間では公園に設置されている防災庫の雪かき、又消火栓の雪かきなど身近な場所にありながら排雪する人がいない、又ある町内会ではいつ雪が降っても対応出来るよう住民協力のもとで排雪をおこなっている町内会もあるという朗報がありました。町内会長も高齢化のため後継者を見つけるのに大変との事、マンションの方々の町内会加入についてなど身近なお話が出され大変良かったとの事。

市民防災団体連合会に加入することにより多くの方々の情報を得ることで助かるとの声をいただきました。

今後多くの方に加入していただき情報交換の場が広がれば良いと思います。

ご参加いただきました方々に心より感謝申し上げます。



北海道総務部危機対策課

防災教育担当課長 甲谷 恵さんを講師に招き近所の力、防災活動

はアイディア勝負！のセミナーが行われました。

講師によるセミナー

## 表彰式出席者

### 受賞団体代表者

中央区	緑ヶ丘町内会
北 区	新川さくら並木連合町内会
東 区	元町連合町内会
白石区	東白石地区町内会連合会
厚別区	アイシティ大谷地町内会
豊平区	豊平地区町内会連合会
清田区	北野第二団地自治会
南 区	藻岩グリーンアヴェニュー壹番街管理組合・町内会
西 区	西町連合町内会
手稲区	星置連合町内会



# 平成26年度 事業としての研修会開催

(公財) 札幌市防災協会 防災・危機管理専門官 細川 雅彦氏

平成26年11月8日(土)札幌市民ホールにて当市民防災団体連合会主催、防災研修会を行いました。近年は異常気象の影響からか大規模災害が世界でも多発しており、特に日本では集中豪雨による大型土砂災害が広島県や北海道でも発生しました。

札幌におきましても大雨による避難勧告が発令され、風水害に対する防災意識の高まりが広がっております。

北海道でも無縁では無い活火山噴火災害の御嶽山の噴火に多くの方が犠牲になりました。

当会も災害に備えて改めて自主防災組織の活動や危機管理に対しての再認識構築の為、警防業務、火災予防、危険物規制、消防装備など幅広い業務に従事しております。(公財) 札幌市防災協会 防災危機管理専門官 細川雅彦氏に講師をお迎えして

テーマ 災害に備えて 災害とは? 災害から学ぶ危機管理・救命救急の大切さについて講演いただきました。

当日は天候にも恵まれ各町内会、自治会の会員の方々が参加し盛大に終了しました。

講演内容としては、

スクリーンを利用して分かりやすく

災害に備えて、

①災害とは?

②災害に備えるとは?

③地震はなぜ起きる?

④地震災害に備える

⑤怖い気象災害

5のテーマに沿って各地で発生した折の状況、対応、現況についてお話されました。このような講演は普段なかなか聞くことのないお話をだと会員より朗報をいただきました。

各町内会、自治会で研修会を開くおりには身近な分かりやすいテーマなので、研修会などでなにをして良いか考えている各団体には是非お聞きしてみてはいかがでしょうか。

会では皆様よりお聞きしたい内容のものがあれば是非ご一報下さい。

少子高齢化社会にむかい市民の皆様が、高齢者に対して安否確認、家庭内の親子の災害発生時に際し連絡先などの確認、など明るく住みよい社会、町内会をめざして研修会などで情報交換の場を広めて行きませんか。





## いざという時に備えて

北野第二団地自治会会长 菅 勝

この度の受賞をうれしく思います。要援護者と支援者をマッチングさせ、地震時を想定した避難訓練を実施してきた活動が、評価されたものと感謝いたします。

4年前、自治会住民の『援護を必要とする人』と『支援できる人』の希望をアンケート形式で調査し、近隣の方をうまくマッチングさせ、支援体制を整備しました。

第1回の訓練では、「要援護者」と「支援者」との顔合わせを中心に、第2回の訓練では、車椅子やリヤカーなど防災庫の備品を利用しての実施でした。今年度の第3回の訓練では、より実際の地震時を想定して、自力で避難、受付確認で来ていない要援護者を迎えて行くなど、防災役員の受け入れ体制や避難方法の工夫をしました。

今後は、自治会員全員を対象とした訓練を実施し、これまでの訓練を生かしていきたいものです。

## 地域の防災力アップを目指して

豊平地区町内会連合会 中川昭一

このたび、豊平区町内会連合会が光栄にも札幌市防災表彰を受賞することができ、町連防災防火部一同、心より感謝しております。

豊平町連は昨年5月に「防火部」を「防災防火部」と改称し、より積極的に地域の防災対策に取り組んできました。平成26年度は、各単町の防災力を把握するためのアンケート調査の実施を皮切りに、町内会員への家庭用緊急避難用品の斡旋、町内会館に備蓄してある防災グッズの取扱い研修会や防災先進地区の対策を学ぶ視察研修会の開催のほか、9月11日の大雨災害を教訓に町連の緊急連絡網を整備し、それを活用した情報伝達の模擬訓練も行いました。また、現在、平成27年3月発行を目指し、北海学園大学の学生と連携してAEDの設置場所や避難所を記載したAEDマップを作成している最中です。

来年度も「自助」「共助」を合い言葉に、関係機関の協力も得ながら、地域住民の防災意識の向上と地域の防災力アップに向けた取り組みを進めていきたいと考えています。



防災先進地区的取組を学ぶ

## 防災団体賞の受賞にあたって

白石区東白石地区町内会連合会会長 山中忠典

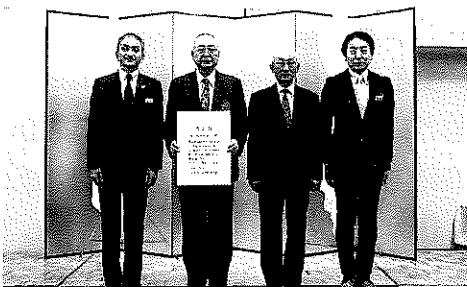
先般1月22日に、すみれホテルに於いて、名誉ある防災団体表彰状を、上田市長より授与され大変嬉しく、感激いたしました。

この受賞も、日頃防災意識を持ち、年一回ですが地域全体に於ける防災訓練を二十数年続けてまいりました結果だと思っております。平成26年度より訓練効果を上げるべくトリアージ訓練を取り入れました。この訓練は後で判った事ですが単町連の訓練ではトリアージを取り入れたのは全道で初めてだそうです。白石消防署にシナリオを作っていただき当日は戸惑いの中なんとかシナリオどうりに訓練することが出来ました。これから一年二年と実施していく中で立派なものになっていくことでしょう。白石区には直下型の地震源があり、地震が起きた時は、自助努力により尊い命を助ける事が出来るのではと思い訓練が必要で有り私達は取り入れてよかったです。

これからも、防災意識を高めていかなければと会員一同誓い合い認識を確かめあったところであります。

結びになりますが、貴札幌市民防災団体連合会の益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げ受賞のお礼といたします。

## 平成26年度 札幌市防災表彰式





## 地域防災表彰を受賞して

アイシティ大谷地町内会会長 小野塚 健一

町内会長をしていると、どうしても社会の動きが目に入って、あーもしなければ、こうもしなければと思う。毎年3・11の大震災の日が来るたび思うことは災害は私達の日々の生活を根底から奪ってしまいます。

なんと言っても平穀な生活を確保することが大切であり、自分達で町内会として何ができるのかと考えた時、まず自分自身が知識をつけなければと思い、北海道が主催する地域防災マスター制度に参加してみた。そして外から見た我町内会の防災については無防備。できることからやることとして防災講話自主防災規約の策定訓練の実施防災質器財、備蓄品の購入そしてマンション独自の防災マニュアルの製作、最後に支え合い活動と最低限の準備しただけで、実際災害が起きた時にどれくらい役に立つだろうか。『備えあれば憂いなし』と思い備えが役立つように願うばかりです。



## 防災への意識改革が必要

南円山緑ヶ丘町内会会長 矢萩 弘志

この度、札幌市長により平成26年度防災表彰受賞の栄誉に浴し、深く感動しております。

当町内会独自の本格的な防災活動への取組みは、決して早いものではありませんが、地道な活動が評価を頂いたものと自負しております。当地域は、特別警戒区域を含む広範な警戒の土砂災害警戒区域があり、その直下には4ヶ所介護施設や個人住宅等が混在する等危険ヶ所を抱えております。

今までの主な活動は、平成24年に国の行政機関庁舎の一部を緊急避難場所（臨時的小規模避難対応）の確保を始め、自主防災計画の策定・防災質機材の集中管理等の他、地域特性を盛り込んだ利用し易い防災マップを検討中です。今後の課題としては、避難所運営の模擬訓練や独居高齢者の避難時対応、備蓄品の計画的常備等があります。

昨年9月11日の集中豪雨時の避難状況は、迅速対応の各介護施設を除き、直下の住民は皆無であり、また毎年連町主催の防災訓練での住民参加は極めて低調であります。

この数年来、道内外の各地域では異常気象による想定外の大災害に見舞われており、札幌が将来も災害に遭わない保障はありません。長年の生活体験から根付いてきた「大災害の無い安全・安心な札幌」との固定観念に捨てさせる等、防災への意識改革の啓蒙が今取組むべき緊急の課題と考えております。

今回の受賞に対し、衷心よりお礼申し上げますとともに、札幌市や防災連合会のご指導のもとに、今後息の長い防災活動を展開すべく、決意を新たにいたしております。



## 元町地域の防災活動

元町町内会会長 本村 良一

この度、札幌市長より札幌市防災表彰を授与されたことは、町内会活動を行っている者としてまさに光榮であり感謝に堪えません。

ただ、何か特別な事を行ったとは、思っておりません。東日本大震災教訓を取り入れるにはどうしたらよいかと考えましたが、一人でも多くの方に参加してもらうのが一番と、単町としては自主防災組織を立ち上げ毎年訓練を繰り返し行い。連町としては毎年の防災訓練・D I G研修及びH U G研修を行い。また、地元の小学校と協力して防災お泊まり会を毎年実施しています。このような地道な活動を行ってきたのが、認められたと連合町内会の役員及び町内会の方々と喜びを分かち合っております。これからも活動を継続して行い、一人でも多くの住民の方に参加していただき、今回の表彰に恥じない活動をしていきたいと思います。

# 札幌駅前通公共地下道の接続ビルで 火災が発生しました！

平成27年2月10日(火)、市内の大規模複合用途ビル内の飲食店で営業中に火災が発生し、2名の方が負傷しております。またこの火災により、札幌駅前地下歩行空間に煙が流入し、多数の方が避難しました。

この火災原因については、厨房設備付近の油汚れへの着火したものとみられています。ご家庭においても火災を発生させないための、日ごろからの火災予防が重要であり、また火災が発生した場合に迅速・的確に対応できるよう火災時の行動を確認しておくことが必要です。

## コンロまわりの点検や出火した場合の対応を再確認して下さい。

- ① グリスフィルター等に油が大量に付着していませんか。
- ② コンロなどの周囲に可燃物を置いていませんか。
- ③ コンロなどの周囲の壁が変色していませんか。
- ④ 消化器などは常に使用できる状態ですか。

## 出火した場合の対応を再確認して下さい。

- ① 火災が発生した場合の役割は把握していますか？  
119番通報、初期消火、避難誘導を確実に行いましょう。
- ② 消防訓練を定期的に行いましょう。  
日頃から的心掛けが大切です。

## 編 集 後 記

広報発刊にあたり多くの連合会団体、自治会の皆様よりお忙しい中ご寄稿いただき心より厚くお礼申し上げます。

皆様のご寄稿により今迄知りえなかった情報なども知る場として是非皆様の活動に対してご一報いただける事お待ちしております。

5月には当連合団体の総会が予定されてますのでご案内の折には多くの方々のご出席お待ちしております。

広報部長 渡辺 恵美子 電話 011-851-9583番